

ふるさとの木

ハルニレ (若園)



場所:新冠町字若園(旧若園小学校校庭)
樹木の太さ:約70cm

木の特徴

日高地方などでは、昔から別名アカダモの名で親しまれてきました。また、英名ではエルムの名でも知られています。落葉高木で、幹は灰褐色で老木になると縦に浅い裂け目ができます。葉は互生で倒卵形で3~10cm、幅は2~5cmぐらいになり、春、葉が開く前に小さな赤紫色の花をつけます。材質はかたく、建築用材や楽器(太古の洞)などに使用されてきました。

《文~大下謙二さん》

この木と歴史のかかわり

若園を含む新栄、泉といった地域は、その昔滑若(ナメワッカ)という地名でした。特に、若園の近辺はスネナイと呼ばれ明治から昭和戦後まで、御料牧場の育馬場としても活用されていました。

そのような中、大正8年に新冠尋常小学校滑若特別教授場が開校します。これが若園小学校のはじまりとなります。

この校庭に、ひときわ目立つ大きなハルニレの木があります。ハルニレは、アイヌ神話にも登場し、アイヌ語でニレの皮を「ニカブ」といって、「新冠」というという地名の由来にもなった木です。若園の子ども達を見守ってきたふるさとの木…。これからも大切にしていきたいですね。

《文~新川剛生学芸員》

小竹町長の動静 & まちのできごと 12月・1月 ●は町長出席

12月 ●5日、「税を考える週間」習字展特別賞授与式 ●9日、庁内会議 ●10日、新冠ヒルズ取締役会 ●11日、70歳以上ひとり暮らしふれあい年越会 ○11日、例月出納検査 ●15日、第4回定例会(～19日) ●17日、歳末防犯運動出陣式 ○17日、入札 ●24日、日高中部(衛生施設組合、広域連合、消防組合)定例会(新ひだか町) ●29日、新冠消防団年末特別警戒陣中巡視

1月 ●6日、日高中部消防組合新冠消防団・新冠支署連合出初式 ●7日、町政懇談会(～9日) ●11日、町教育賞・教育奨励賞贈呈式、農水新冠賞・森みつ少女文芸賞授与式、成人式、町優良青少年表彰式 ●13日、交通安全祈願祭 ○13日、例月出納検査 ●16日、入札 ●20日、庁内会議、農業サミット ●26日、新冠建設協会通常総会 ●31日、固定資産評価審査委員会

人の
うごき
(平成21年1月末現在)

人口	5,908人	(前月比 + 11人)
男	2,871人	(前月比 + 3人)
女	3,037人	(前月比 + 8人)
世帯	2,587世帯	(前月比 + 5世帯)
外国人登録者	31人	

